





## SDGsシンポジウム

### 第1回「人権尊重の経営と企業法務の役割」

#### 登壇者略歴

##### 基調講演①



##### 松井 宏樹

(外務省 総合外交政策局人権人道課 企画官)

2002年、大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程修了、外務省入省。これまで主に多国間外交の分野に従事。不拡散・科学原子力課首席事務官、国連政策課首席事務官等を経て、2019年から2022年まで軍縮会議日本政府代表部（スイス・ジュネーブ）参事官として核軍縮などを担当。2022年7月から現職。関係府省庁連絡会議やステークホルダーとの円卓会議の運営等、「ビジネスと人権」に関する行動計画の推進に向けた総合調整を担当している。

##### 基調講演②



##### 田中 竜介

(国際労働機関 (ILO) プログラムオフィサー 渉外・労働基準専門官)

SDGsやビジネスと人権等の文脈において国際労働基準の普及活動に従事。日本の政府、使用者及び労働者団体、市民社会との協業のほか、諸国大使館との連絡窓口の役割も担う。外務省ビジネスと人権に関する行動計画に係る作業部会委員。経済産業省サプライチェーンにおける人権尊重のためのガイドライン検討会委員(元)。主な論考として「労働に関する企業の社会的責任 (労働CSR/RBC) の実現に向けた政策提言」(共著、ILO)

##### 基調講演③

パネルディスカッション  
(経営者の視点から)



##### 廣渡 清栄

(日本たばこ産業株式会社 代表取締役副社長)

1989年に一橋大学法学部卒業後、日本たばこ産業株式会社に入社。2010年から同社にて法務部長を務め、2012年からは執行役員 法務責任者を兼務。その後、執行役員としてたばこ事業本部事業企画室長や人事担当を歴任し、2018年から代表取締役副社長に就任、現在に至る。2022年3月より、コーポレート・サステナビリティマネジメント/医薬事業・食品事業担当も務める。

パネルディスカッション  
(実務者の視点から)



##### 金田 直樹

(栗田工業株式会社 サステナビリティ推進本部 インテグリティマネジメント部 推進課長/グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン人権DD分科会共同幹事)

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ) の人権デューデリジェンス分科会幹事を務める。各分科会をまとめ、政府の「責任あるサプライチェーンにおける人権尊重のためのガイドライン」のパブコメに対し、意見提出をした。分科会活動において「ビジネスと人権」分野のGCNJ参加企業の連携を推進している。栗田工業株式会社では経営企画等に従事し、現在サステナビリティ推進本部 インテグリティマネジメント部 推進課長。

パネルディスカッション  
(弁護士の視点から)



##### 矢吹 公敏

(矢吹法律事務所 代表パートナー 弁護士)

一橋大学大学院法学研究科ビジネスロー専攻 非常勤講師)

東京大学法学部卒業 (1982年)、コロンビア大学ロースクール卒業 (1991年)。1987年に日本で、1992年にニューヨークで弁護士資格を取得。国際法曹協会 (IBA) の弁護士会評議会議長、SIDAが出資する国際法律支援コンソーシアム理事を務めるなど、法律分野において国際的に活躍している。東京弁護士会会長、日弁連副会長 (2021~2022年) を務めたほか、現在、企業を中心とした責任ある外国人労働者の受入れプログラムを推進するJP Miraiの代表理事も務めている。

全体進行/モデレーター



##### 櫻井 洋介

(一橋大学大学院法学研究科ビジネスロー専攻 特任准教授)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 シニアマネージャー)

早稲田大学法学部卒業、英国エセックス大学ロースクール国際人権法コース修了、一橋大学大学院国際企業戦略研究科経営法務専攻博士課程修了。国際人権法修士、博士 (経営法)。社会保険労務士。コンサルタントとして、企業のサステナビリティや「ビジネスと人権」に関する取り組みを支援する他、官公庁からの受託案件等にも従事。著書に「人権尊重の経営 SDGs時代の新たなリスクへの対応 (日経BP 日本経済新聞出版)」がある。2022年より、一橋大学大学院法学研究科ビジネスロー専攻特任准教授を務める。